

令和2年度自己点検・自己評価

令和2年度の取り組みと評価

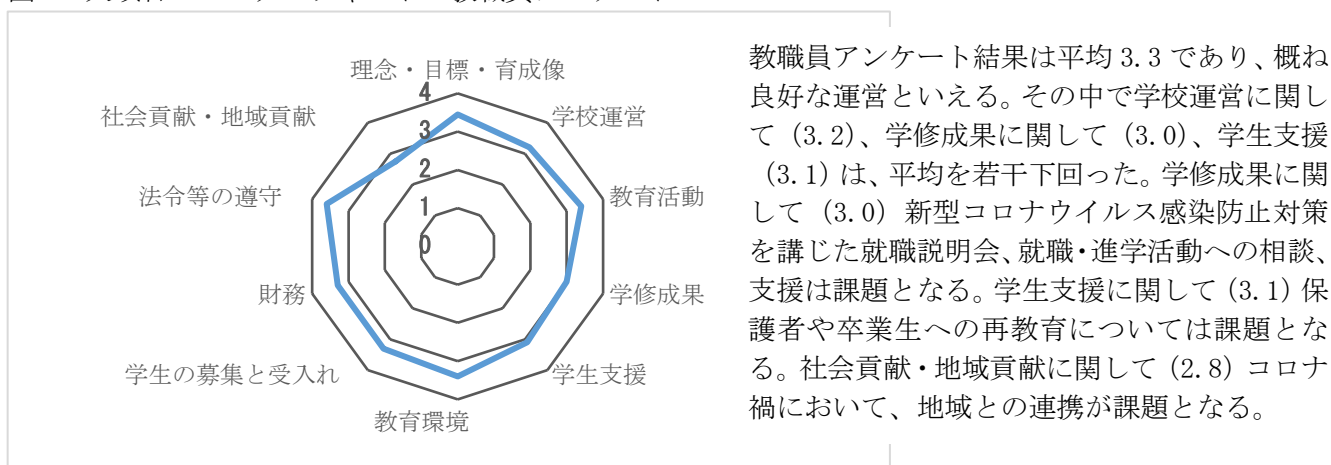
1. 大項目評価 教職員アンケート

表1 評価基準 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

| I | II | III | IV | V | VI | VII | VIII | IX | X |
|-----------|------|------|------|------|------|----------|------|--------|--------------|
| 理念・目的・人材像 | 学校運営 | 教育活動 | 学修成果 | 学生支援 | 教育環境 | 学生受入れ・募集 | 財務 | 法令等の遵守 | 社会貢献 地域貢献 |
| 3.5 | 3.2 | 3.4 | 3.0 | 3.1 | 3.4 | 3.3 | 3.3 | 3.6 | 2.8 |

平均 3.3

図1 大項目のレーダーチャート 教職員アンケート



2. 大項目毎の自己評価と要約

I) 理念・目的・育成人材像 3.5

| | | |
|------------------------|---------------------------------------|-----|
| 1-1 理念・目的・ 育成人材像 | 1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められている | 3.6 |
| | 1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合している | 3.5 |
| | 1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいる | 3.6 |
| | 1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いている | 3.1 |

将来構想について評価が低いのは、学校設置者である中部地区医師会と学校が本校の将来構想についてディスカッションする機会を設けていない、また将来構想を可視化していないために、将来構想が描けていないと考える。医師会より入学生 120 名定員と増員することについて、志願者の動向調査の依頼あった。令和2年度はコロナ禍で調査が行えず令和3年度の課題とする。

II) 学校運営 3.2

| | | |
|--------------|---------------------------------|-----|
| 2-2 運営方針 | 2-2-1 理念に沿った運営方針を定めている | 3.3 |
| 2-3 事業計画 | 2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めている | 3.4 |
| 2-4 運営組織 | 2-4-1 設置主体である医師会は組織運営を適切に行っている | 3.3 |
| | 2-4-2 学校運営のための組織を整備している | 3.4 |
| 2-5 人事・給与制度 | 2-5-1 人事・給与に関する制度を整備している | 3.1 |
| 2-6 意思決定システム | 2-6-1 意思決定システムを整備している | 3.1 |
| 2-7 情報システム | 2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っている | 3.1 |

令和2年度医師会は社労士指導のもと正職員、臨時職員、パート職員等の就業規則や給与規定の見直しを行っているが、その規則・規定を教職員へ周知する発信をしていない。運営組織は図式化されており、各会議、委員会を設置して課題解決している。情報システムでは、SNSの活用で業務の効率化を図る目的で教師間のラインを始めた。業務の効率化に向けてSNS上における情報環境を整える必要性については課題とする。

Ⅲ) 教育活動 3.4

| | | |
|----------------------------|---------------------------------------|-----|
| 3-8 目標設定 | 3-8-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針を定めている | 3.5 |
| | 3-8-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしている | 3.7 |
| 3-9 教育方法・ 評価等 | 3-9-1 修業年限に応じた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にしている | 3.7 |
| | 3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映している | 3.1 |
| | 3-9-3 実践的な職業教育（実習）が体系的に位置づけられている | 3.7 |
| | 3-9-4 授業評価を実施している | 3.7 |
| 3-10 成績評価・ 単位認定 | 3-10-1 成績評価・単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっている | 3.8 |
| | 3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握している | 2.9 |
| 3-11 資格・免許 の取得の指導体 制 | 3-11-1 目標とする免許は、教育課程上で、明確に位置づけている | 3.8 |
| | 3-11-2 資格・免許取得に関する指導体制はある | 3.0 |
| 3-12 教員・教員組織 | 3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保している | 3.0 |
| | 3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っている | 3.4 |
| | 3-12-3 教員の組織体制を整備している | 3.4 |

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言のなか、本校は“授業を止めない”という教員の心ひとつでオンライン授業を導入した。Wi-Fi環境を整備していない中での作業は容易ではなかったが、職員一人ひとりの知恵が言葉となり行動になり、オンライン授業を進めることで授業の遅れを取り戻すことができた。オンデマンドで看護技術の動画を配信、看護実践能力の育成を目指したシミュレーションなどの教育方法を取り入れ、教育の質の向上を目指した。今後は、学生自身が授業時間外に各領域で作成した看護技術、シミュレーションの動画を用いて基礎知識・技能を自己学習し、授業時間内では発展的な学習ができるようにすすめていく。主体的な学びとなる学習につなげていく。平均より評価点の低い項目については課題とする。

Ⅳ) 学修成果 3.0

| | | |
|----------------|------------------------------|-----|
| 4-13 就職率・進学率 | 4-13-1 就職率・進学率の向上が図られている | 3.0 |
| 4-14 免許の取得率 | 4-14-1 免許取得率の向上が図られている | 3.0 |
| 4-15 卒業生の社会的評価 | 4-15-1 卒業生の社会的な活躍及び評価を把握している | 3.0 |

令和2年度3月4日現在、就職未定の学生が数名。本校の期待する卒業生像について、卒業生10期生、9期生、8期生にアンケート調査を行った。また卒業生が就職（県内）した施設に同様にアンケート調査を行った。評価は、よく身についている4、わりと身についている3、あまり身についていない2、まったく身についていない1とした。8期生、9期生、10期生共に多職種協働・予防的支援の項目は4点満点の2.1、2.8の評価となっており、8期生においては、自己研鑽の項目も4点満点の2.5の評価であった。就職先施設の評価は、期待する卒業生像6項目が2.1～2.5の評価である。特に低い項目は多職種協働・予防的支援であり、この項目は卒業生も同様に2.1、2.8の評価である。卒業生については、卒後以降のキャリア形成について把握していることを学校の教育活動の改善へ役立てたい。

Ⅴ) 学生支援 3.1

| | | |
|---------------|--|-----|
| 5-16 就職等進路 | 5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制は整備されている | 3.3 |
| 5-17 中途退学への対応 | 5-17-1 退学率の低減が図られている | 3.3 |
| 5-18 学生相談 | 5-18-1 学生相談に関する体制を整備している | 3.4 |
| 5-19 学生生活 | 5-19-1 学生に対する経済的支援体制は整備されている | 3.4 |
| | 5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備している | 3.3 |
| | 5-19-3 学生の生活環境への支援は行われている | 3.2 |
| | 5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備している | 2.8 |
| 5-20 保護者との連携 | 5-20-1 保護者との連携体制を構築している | 3.1 |
| 5-21 卒業生・社会人 | 5-21-1 卒業生への支援体制を整備している | 2.8 |
| | 5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいる | 2.9 |
| | 5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備している | 3.1 |

学生支援において平均を下回っている小項目は、課外活動への支援体制、卒業生への支援体制、卒業後の再教育プログラムである。学生が参加している糖尿病サマーキャンプの中止、卒業生を学校に招くホームカミングの中止など学生、卒業生への支援ができずにいた。ホームカミングは、オンラインを活用する手段もあったがそうしなかったところは反省するところである。

VI) 教育環境 3.4

| | | |
|-----------------|---|-----|
| 6-22 施設・設備等 | 6-22-1 施設・設備・教育用具は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている | 3.4 |
| 6-23 学外実習 | 6-23-1 臨地実習体制を整備している | 3.5 |
| 6-24 防災・安全管理 | 6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用している | 3.4 |
| | 6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用している | 3.4 |

教育環境は概ね良好な運営である。感染防止対策を取り図書室利用者、利用時間を制限した。令和元年に比べ図書室利用状況は利用者数において、50%半減した。

VII 学生の募集と受入れ 3.3

| | | |
|----------------|---------------------------------------|-----|
| 7-25 学生募集活動 | 7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいる | 2.9 |
| | 7-25-2 学生募集活動は適切に行われている | 3.0 |
| 7-26 入学選考 | 7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用している | 3.6 |
| | 7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用している | 3.3 |
| 7-27 学納金 | 7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定している | 3.6 |
| | 7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っている | 3.5 |

高等学校や看護学校受験のための塾等からの資料請求には応じ、ホームページを通して情報提供を行っている。今年度、学生募集活動は自粛し高校への訪問も行っていない。進学ガイダンスも減少した。

VIII 財務 3.3

| | | |
|--------------------|---|-----|
| 8-28 財務基盤 | 8-28-1 学校及び医師会運営の中長期的な財務基盤は安定している | 3.2 |
| | 8-28-2 学校及び医師会運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っている | 3.0 |
| 8-29 予算・収支計画・監査 | 8-29-1 教育目標との整合性を図り、予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっている | 3.0 |
| | 8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っている | 3.5 |
| 8-30 監査 | 8-30-1 財務について会計監査が適正に行われている | 3.7 |
| 8-31 財務情報の公開 | 8-31-1 財務情報公開体制を整備し、適切に運用している | 3.5 |

財務分析、予算・収支計画については、中部地区医師会臨時総会に参加する管理者は適切に行われていることは理解できるが、他の教職員には不透明になっていると考え、資料の回覧を行うこととした。

IX 法令等の遵守 3.6

| | | |
|--------------------|---------------------------------------|-----|
| 9-32 関係法令、設置基準等の遵守 | 9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がされている | 3.8 |
| 9-33 個人情報保護 | 9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施している | 3.7 |
| 9-34 学校評価 | 9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っている | 3.6 |
| | 9-34-2 自己評価結果を公表している | 3.5 |
| | 9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っている | 3.7 |
| | 9-34-4 学校関係者評価結果を公表している | 3.7 |
| 9-35 教育情報の公開 | 9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っている | 3.5 |

X 社会貢献・地域貢献 2.8

| | | |
|-----------------|--|-----|
| 10-36 社会貢献・地域貢献 | 10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っている | 2.8 |
| 10-37 ボランティア活動 | 10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っている | 2.7 |

学生の評価においても低い結果となった。ボランティア活動において多くの方と関わり役割を果たすことで学びも大きい活動であるが、コロナ禍では活動が制限され、積極的な活動を自粛していた。